

(会議の経過) 第6回 伊水・都多小学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	新聞記事(耐震化計画)に関して市の考え方について説明
委員	次第3「保護者アンケートの結果も踏まえた今後の方向性について」協議 アンケート結果で、今後の進め方として全体説明会の定期的な開催を望む声が多いが予定はあるか。
事務局	当委員会で保護者及び地域住民対象の説明会の開催を決定いただき実施したが参加率が低く、地域の声は自治会総会等で集めていただき、保護者の声はアンケートで集めることを再度確認され、今回アンケートを実施したものであり、現時点で再度の意見交換会等を開く予定は持っていない。
委員	アンケートの多数意見で進めるのか。あるいは行政として方向性は持っているのか。また、学校跡地の活用はどう考えているのか。蔦沢北部は限界集落化が進んでおり、一層過疎化が進むと思う。
事務局	アンケート実施にあたり、当委員会で意見を集めることを主目的とすること、結果の数値をもって判断するものではないことを確認して実施した。行政として当委員会設置時に地域として方向性を決定いただくよう依頼しており、強引に実施する考えは持っていないが、地域・保護者の皆さんの理解を得て適正化を進めさせていただきたいという方針は変わらない。
委員	事務局としてアンケート結果どう感じているか。
事務局	数値がばらついており、1つの方向を向いていない印象はある。引き続き十分な話し合いが必要ではないかと感じている。
委員	自治会は当委員会に委ねるということになっている。
委員	行政は予算で動くが、例えば校舎改築などの試算はしているのか。
事務局	具体的に場所が決まっておらず試算はしていないが、市としては中学校に近い小学校校舎の使用を提案しており、新築ではなく現校舎のリフォームで考えている。しかし不足する場合は増築などの補充策はとることとしている。
委員	アンケート結果は市ホームページに載せるなど公開するのか。また結果を保護者に配布する予定はあるのか。
事務局	保護者意見集約のため地域の委員会で実施のアンケートであり、ホームページでの公開は考えていない。保護者への配布について、当委員会で協議いただいて配布することが確認されれば送付してお知らせすることもあると思う。
委員	耐震化の説明があったが、子どもの安全性を考えた時、当委員会の結果待ちでは遅すぎるのではないかと思う。
事務局	耐震化については計画的に実施したいと考えている。当委員会の方向性によって実施時期を後にすることはできないと思っており、市として判断していくことになると思う。
委員	地震はいつくるかわからない。そんな悠長な計画でいいのか。
事務局	耐震化計画に基づき実施しているが、最短で今年的设计、来夏の着手になると思う。
委員	未耐震化期間は使用禁止にするなどの考えはないか。仮に適正化を実施して跡地活用を考えるにしても、未耐震のものを地域に押し付けず、適正化の議論とは別に進めてほしい。
事務局	市としても最善の取組をしたいと思っている。
委員	適正化の協議をはじめから5年が経過しているがあまり進んでおらず、このままいくのではなく、耐震は別で考えてほしい。

事務局	市としては当委員会で地域の大きな方向性を決定いただきたいと思いますと思っており、何年のうちにとすることは持ち合わせてはいない。しかし、子どもの集団を確保したいというのが教委の思い出もあり少しでも早く実施させていただきたいが、もし当委員会で協議継続が確認されるならば、協議を続けさせていただくことはある。
委員	実施場所がネックであるが、当委員会で場所が決定できるのかと思う。
事務局	アンケートも実施場所については意見が分かれている。
委員	適正化・一元化の協議の必要性を感じながらも、今すぐの統合は必要ないとの意見が多い。
事務局	協議の繰り延べや凍結も結論の一つではあると思うが、就学前児童の保護者の意見では早期実施を求める声もあり、また市としては少しでも早く実施させていただきたいと思っており、当委員会で方向性を決定いただきたい。
委員	適正化が実施されてきた地区は、決定はどのようにされたのか。多数決での決定などはあったのか。
事務局	多数決で決められた地区はなかった。当地区同様、自治会説明会・保護者説明会での意見集約、またPTAで臨時総会等を持ち意見をまとめて地域の委員会で報告されることもあったが、最終的に地域の委員会で方向性を決定された。
委員	これまで適正化を実施してきた地区は、行政の計画どおりに進んできたのか。
事務局	一宮北中校区の例だが、市は中学校に近い三方小校舎に必要な面積確保のため校舎の増築による使用を提案していたが、小中一貫を進める意味で北中敷地内での小学校併設に変更した。ただ、小学校に必要な施設を新築するのではなく、普通教室分のみを増築とし、特別教室や体育館、運動場は小中で共用することとしている。
委員	伊水小体育館と都多小校舎の耐震化についての計画を説明してほしい。
事務局	学校施設耐震化計画に基づき、IS値（耐震指標）の低い部分から順次計画的に実施している。
	※暫時休憩
事務局	校区単位で保護者と教育委員会の意見交換会を持ち、一定、方向性を集約いただいて当委員会で再度協議の方法を提案させていただく。
委員	保護者だけの意見を聞いて決めるのか。自治会は当委員会一任としながらも保護者議論でまた時間を要すると思われ、同じことの繰り返しになると思う。
委員	校区単位で保護者に寄っていただき、アンケート結果の説明とあわせて意見をまとめてもらい、その結果をもって当委員会で方向性を決めていただきたい。
委員	アンケート結果から保護者の意見を読み取ることもできると思う。
事務局	アンケート実施は保護者意見を聞くという趣旨から決定されたもので、委員各位にも現役の保護者世代の思いを尊重しようという思いを持っていただいていると思う。アンケート回答者も結果報告を待っておられると思うので、まず事務局も入って両校区の保護者の思いを確認する中で、最終的に当委員会で方向性を決定いただきたいと思いますと思う。
会長	まず保護者へのアンケート結果の説明もかねて保護者協議をさせていただき、その結果をもって次回以降の当委員会で方向性を出していけたらと思うので、よろしく願います。
	※保護者との意見交換開催の日程調整は事務局で行うことで了承。